[新約]
魔法少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA
おりこ☆マギカ
sadness prayer
3
漫画
ムラ黒江
芳文社
PUELLA
MAGI
ORIKO
MAGICA
Volume Three
3
PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
sadness prayer

NEW TESTAMENT
P
U E
L L A
M A G I
O R I K O
M A G I C A
sadness prayer
MANGA TIME
K.R.
COMICS
「新約」魔法少女おりこ☆マギカ
3
芳文社

3
[新約]魔法少女おりこ☆マギカ sadness prayer
原案＝Magica Quartet　漫画＝ムラ黒江
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA sadness prayer
MANGA TIME KR COMICS

猛スピードで
車両が歩道に
乗り上げてきたため
避けられなかった
ようです
手は尽くしましたが
…残念です
…
おか…

由良子！
由良子ぉぉ!!
君がいなくなったら
僕はどうすればいいんだ
ああ…
そうだ…
お母様がいなくなったら
誰がお父様を支えるのだろう

誰が？
誰がいる？
いない
わたししか
いない
だから
わたしは
泣いては
いけない

だからわたしは
子供でいてはいけない
第14話
だから
わたしは
子供でいては
いけない

ふつーさ「アジト」って言われたら建物だと思うよ

こんなトコ住所合っててもスルーするって

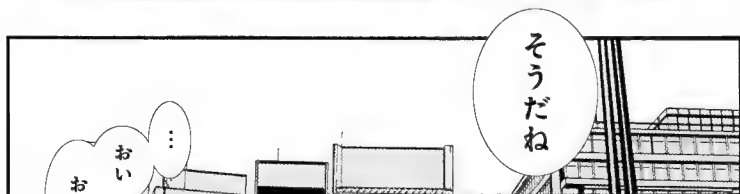
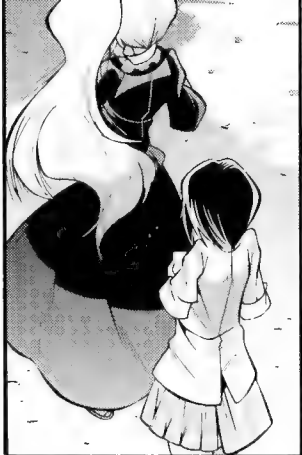
ささささささホント性格悪いね

レンタル倉庫なんてさ

織莉子！どうしたの？

…大丈夫よ

…そう
そうだね
…
おい
おい
落ちたぞ
おーい
ゆま
落ちたって
何してんだよ
紙ついてるし
セーフだな
ほら

何だよ
ヘンな顔して
すっ

ゆま
キミにも
その素質が
あるみたいだ

ゆまはなんで
魔法少女に
なったら
ダメなの？

キュゥべえは
ゆまにも
できるって…
むぎゅ

ダメなもんは
ダメってんだ
何度
言わせんだ
まったく！

でっ
でも！

でもじゃねえ
人生の先輩の言うこと聞かないヤツはロクな人間になんねーぞ

頭洗ってやるからむくれんなよ
キョーコ頭ガシガシするからいや～
イヤなのかよ！

ちぇー
魔法少女になったら

キョーコのお願い叶えてあげたのにな

やっぱりゆまには
魔法少女はムリだな
他人のために
願いを使うなんて
バカのすることだよ

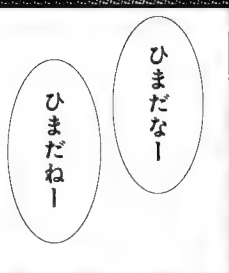
ゆまが一人前になったらキョーコのお世話するよ！
へ？

ゆま魔法少女にならないよ！
バ
バッ

いや…ひとりで生きてくんだろ？
てかお世話って介護かよ？
頑張るぞー
あーはいはい頑張れよー

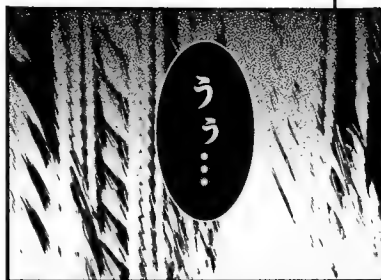
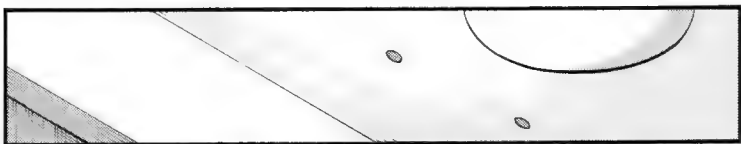
ねっ

何故？
千歳ゆまの予知ばかりが次々と浮かぶ
風見野に来てから…
いや
あの時からだ
何故？
幼いわたしを思い出す
魔法の暴走なのか

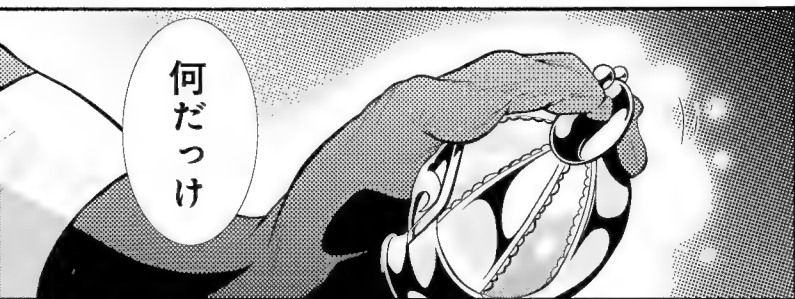
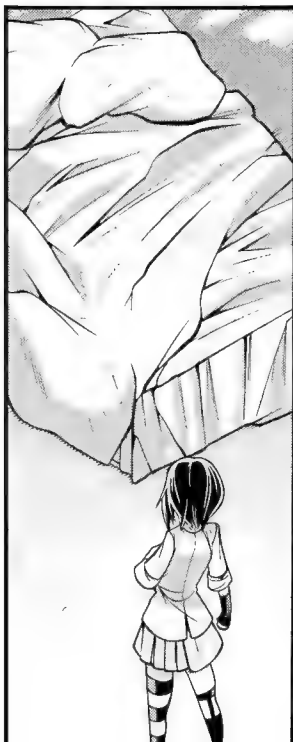
おいしいい！
残すなよ
お父様
忙しいの？
そうだね
市議の仕事なんて
もっと楽なものと
思ってたけどなぁ
かまって
あげられなくて
すまないね
織莉子
キョーコ！
何だよ
のっかんなよ
重い重い
いいことだわ
みんなが
お父様の力を
必要として
いるのだもの
シャンプー
目に入ったぁ！
我慢しろー

父兄参観のおしらせ
ひまだなー
ひまだねー
ゲーセンでも行くか？
さんせーい
今日はゆまが勝つからね！
お父様は
こんなことをしている暇はないもの

うぅ…
う…
わたしの過去と
彼女
ゆまの未来が
撹拌される
うぁあ…
頭が
おかしくなり
…そう…！
うぅ…
うぅ
うぁあ

うわあああん
ああん

ガバッ

なんで織莉子は
キミに
嘘を吐きましたか?
大丈夫よ
それは私が
「織莉子に
信頼されてない」から

私がまだ

「織莉子に相応しい人間じゃないから」

だって
それが
私の
私の？
何だっけ

織莉子ー
具合良くなった？

おい こら！
枕とるなよ！
だってー
キョーコの
髪の毛
鼻に入って
むずむず
するんだもん
ドン
そんなもん
寝ちまえば
気にならな…
マジか…
スヤァ…
ぐいー

まったく
しょうがねえ
やつだなぁ

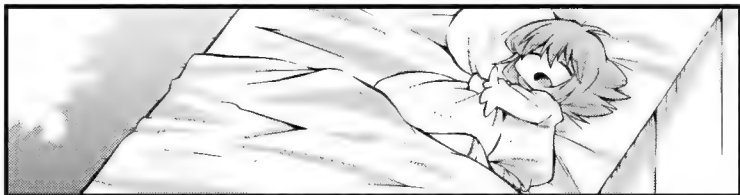
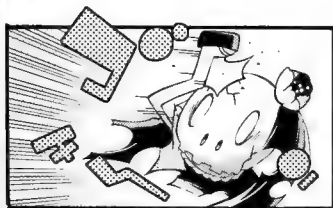
PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
sadness prayer

人の思いはとても深い
人の思いが神を創り悪魔を創り
すべてを創るのだわ
第15話
わたしに弱さを思い出させないで

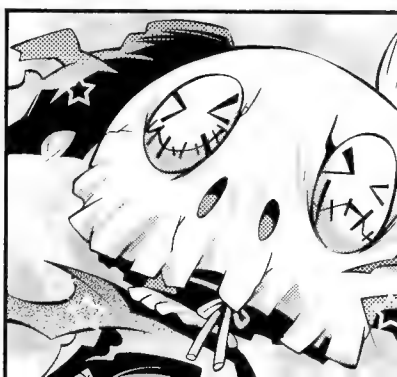
キュウべえ（あなた）が望むように

そして

彼女自身が
望んだように

なんだ…？
っと！

…
じゃん
じゃん
ふざけたやつだな…！
ああもう
とっとと終わらせて
二度寝しよう
こんな夜中に
メーワクな魔女
だよ
ドドドド
ドドッ

くっそ
これで
どうだッ！

とっ
とっ
硬いな…
面倒くさいことにならなきゃいいが…
面倒くさいこと
あいつホントに一人前になれんのかな…

一人前になったら
キョーコの
お世話するねっ！
あたしは
魔法少女なんだ

あたしは
魔法少女なんだ

ゆまは違う

あたしとは別の道を行く

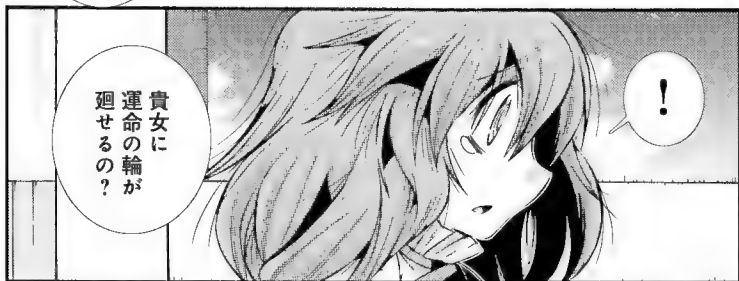
行かなきゃだめだ

だから
ずっと一緒になんていられない

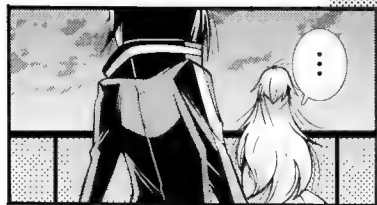
やっぱり関わるべきじゃ
なかったのか…？

佐倉杏子
死神は
最早
彼女を連れ去って
仕舞ったのかしら
死…

キョーコ
しんじゃう…の？
キョーコ…
キョウ…
うっ
うっ
うわあああ
あああん
やだよ…
やだよぉ
うっ
うぇぇ
うう
ぐすっ
ぐす
ぐすっ
おねえさん
キョーコの
いるところ
知ってるの？

…
知っていたとして
どうするの？
！
貴女に
運命の輪が
廻せるの？
…キョーコを
キョーコを
たすけて
…！

ヒュオオオ
あらキリカ
来ていたのね
なんでだい織莉子
君はここで騒ぎは起こしたくないと言っていたよ

キョーコ！
キョーコ!!
なんで
ズテッ
千歳ゆまを焚き付けたんだい？
アレはキュゥべえが目をつけているんだろう？
アレからヤツに私たちの所在が漏れるかもしれないよ
もう知れているわ

わたし自身が
キュゥべえに
会ったもの
…
…なんで？
何故？
何故かしら？

千歳ゆまに感じる
この激情は
何故なのかしら
泣いている
だけだから

わたしは

泣いては
いけない

この世界のために

この世界のために
この世界のために
この世界の…
わたしに…
わたしに…

織莉子？
君が
本当の織莉子
なのかい？

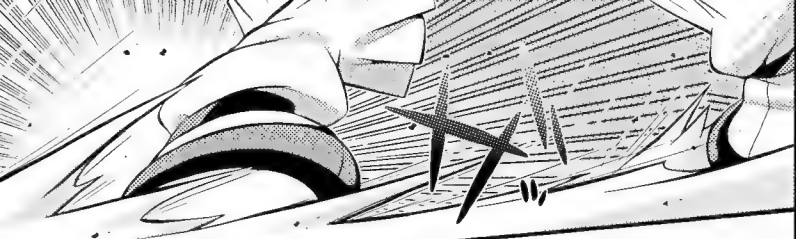
貴女はなにを言っているの!?
頭が壊れてしまったの?
わたしは美国織莉子…
わたしはわたしよ…!

わたしは美国織莉子
救世を為す魔法少女
わたしは迷わない！
それが例え悪逆の道であっても…
それがわたし…!!
ありがとう

えっ
やっぱり
君は素敵だね
私の行き先を
指示してくれる
大丈夫
君のやることは
いつだって
正しいんだ
それに
望むなら
すべて
殺すよ

君のために「変わろう（壊れよう）」

キョーコ
死んじゃ…
ギギュ
ドッ
だめッッ!!

ガキん!

キョーコ
ゆまも戦うよ
なにも出来ないのは
もういやだもん
キョーコ
のために
ゆまのために
織莉子の
ために
変わるよ

P U E L L A M A G I

O R I K O M A G I C A

s a d n e s s p r a y e r

んーふむふむ

どうしたものかなあ
あ…?
いやね

あ
あ…
いつも同じ手口だと足がつきそうでさ

良かったね
君は魔女(運命)から解放されたよ

女子中学生がふたり
さらに二件連続で少女の殺害事件が起こってる
いえ もっとたくさんね
第16話
だから お姉ちゃんは 怒って いるんです
魔女結界に置き去られた魔法少女たち
キュゥべえが言っていたことも気になるわ
すこし前に風見野の魔法少女たちがこの町に来たのだけど
全員が忽然と姿を消してしまった

最悪の事態だと
考えていいだろう
そして
これは
魔法少女の
テリトリー争い
という域を
越えているね
「魔法少女を殺すため」に
動いている魔法少女がいる
頼まれて
くれるかな
マミ
それは
もちろん
だけれども
キュゥべえ
犯人の目星は
ついているの？
付けては
いたん
だけれどね

間違いだった
ようだよ
はあ…
まったく
何の手掛かりも
なし…
ちょっと
辛いわね
連続少女殺人事件で
街の警備も厳しく
なっているわ
これが続くと
魔女探しもおちおち
できなくなりそうね
補導
されちゃいそう…

だれか協力してくれる子がいるといいんだけれど…

私の知ってる魔法少女…

協力…

してくれるかしら？

はぁ～頭が痛いわ

おねえさん

いえ頭が痛いっていうのは例えでね

じゃあほんとは痛くないの？

ん？
あっ
？

魔法少女
殺し…ね…
ぁぁ
なにか
心当たりは
ないかい？
キリカ
…
いやまったく
大体そんなのに
出くわしたら
殺るか殺られるかだろ
質問に
センスがないな

ん？
心当たり？
ああ
そうゆうことか

「おまえの
胸に聞いてみろ」
ってことか
疑われていると
見ていいいね

そうゆうことなら
はっきり言うよ

私は
殺人なんて
望んでいないよ

じゃあ
そうゆうことで
私もヒマじゃ
ないいんだ
キリカ
まだなにか
言うことが
あるのかい？
なんだい
…キミも
キミも
気をつけてくれ
これ以上
魔法少女を
殺されるわけには
いかないい

××党
八重樫議員が
応援演説に
かけつけ――

与党奪還を
有権者に

次のニュースです
見滝原
連続少女
殺人事件は
未だ…

当てが
外れたな

キリカは直情的で
嘘や隠し事が得意な
人間じゃない

彼女が魔法少女
殺しなら

疑いをかけられて
眉ひとつ動かさずに
否定など出来ないだろう

小巻の証言で間違いないと思ったんだが
マミの働きに期待するしか無いね
ボクが注意を呼びかけた魔法少女は
皆 犯人に心当たりが無いと言った
魔法少女殺しは
来訪者か
あの中にうそつきがいるのか
それとも
本当にすみません…

美国先輩にご迷惑おかけしてしまって

いいのよ
近しい人には相談できないこともあるでしょう

はじめて貴女に声をかけられた時は驚いたわ
み美国織莉子さんですか…

わたしは貴女のお姉さんに嫌われていたみたいだったから

えっ？
ごっ誤解ですっ

おねえちゃ…姉は
うぁー!! また負けたーっ

美国はほんとむかつくわ
次の期末はぜっっったいに勝ってやるんだから!

お姉ちゃんそんなイヤなひとなら無視すればいいじゃん
構ったってイライラするだけだよ

バッカねえ!

なんで私が引かなきゃいけないのよ
声おっきいよお姉ちゃん
むかつく奴は正面からやっつけるこれが私の信条よ
だいったいたいね

美国は…

嫌なやつじゃ…ないわよ

なのに

姉があんなことになって
晶さんまで

わたし
お葬式で泣けませんでした

こわくてこわくてたまりませんでした
わたしは

姉が夜中出掛けてることに気付いていたのに止めもしないで
晶さんを巻き込んだ

小糸さん
貴女は悪くないわ
わたしはずるい人間です
責められるのが怖くてなにも知らないふりをしました
だからお姉ちゃんは怒っているんです
誰かが…見てる…

ずるいわたしを
見続けて
いるんです
だれも
いない…
お姉ちゃんは
見てるんです
小糸さん
何度でも
言うわ
貴女は
悪くない

貴女は
出来るだけの
ことをした
行方さんのことは
彼女の意志でしたこと
貴女がさせた
わけじゃない

運が悪かったの

美国先輩
でも…わたし

貴女が胸に
秘めている事柄を
すべての人に
示す義務はないわ
貴女を知らない
人間は
貴女の心境の代わりに
自分の勝手な感情を乗せて
貴女を責めるかもしれないもの

だからいいの
大丈夫
わたしはそうゆう
気持ちを
知っているから

あ…
ごめんなさい

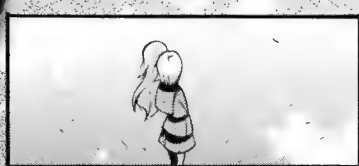
美国先輩だって
お父様を亡くした
ばかりなのに
あわわ・・・
いいの

そうゆう
わたしだから
貴女の気持ちが
理解るのよ

美国先輩・・・

ありがとう
…ありがとう
ございます
責められる
べきは
あの子じゃない
それはわたしが
一番理解している
見ているのかしら
小巻さん

貴女は
わたしのやりかたを良しとはしないでしょう

それでも
わたしは引き返さない

わたしは
鹿目まどかを
殺す

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
sadness prayer

「新約」魔法少女おりこ☆マギカ
ORIKO MAGICA
sadness prayer

第17話

おまえは織莉子の敵だ

変な夢？

うん
おばけと魔女みたいな子が出てくるの

その子たちはすごく怖いんだけれど

わたしを助けてくれる子がいたの

もぉ－！
なに言ってるの
さやかちゃん！
あっはっは
お二人とも！
ねえ暁美さん
暁美さん？
！
ごめんなさい
すこし
ぼんやりしていたわ
仁美
ほむらー
おいてっちゃう
よー！

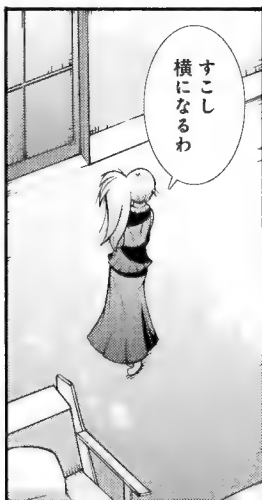
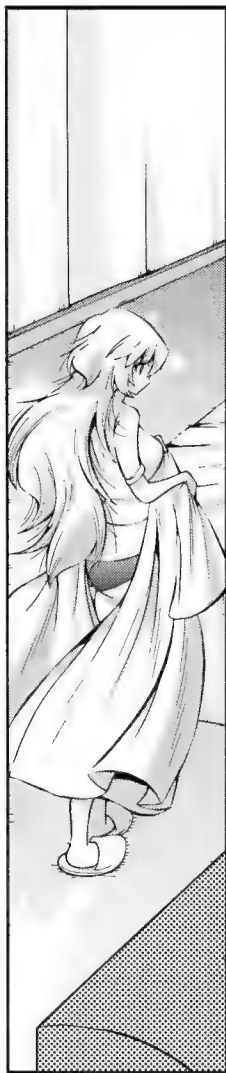
ええ
すぐ行くわ
この時間軸は
なにかがおかしい
キュゥべえが接触してくる気配がない
美樹さやかも魔法少女にはならない
ただそれでも
まどかは危険にさらされた

あの魔法少女の独断なのか
それとも
他に手を引く者がいるのか
なぜ？
何のために？
敵の姿が見えない
あっ
暁美さん！
ちょうど
良かったたわ
少し話が…
えっ？
ギロッ

若手議員による勉強会で
美国公秀議員が熱弁を振るいました
美国議員は実弟である美国久臣の事件について…
おっ
エロオヤ…伯父さんじゃん
××党は八重樫健三郎議員が…
!
これは聡明なお嬢さんだ
これからもお父上の名に恥じぬよう励みなさい
ははは そんな
八重樫先生のような方にそこまで言われる程では…

なにを言ってるのかね
久臣君
きみは
市議で終わる
べき人間では
ないと
思っているよ
ハ
ハ
ハ
先生！
八重樫
先生！
美国織莉子さん
八重樫先生は
貴女のことを
「知らない」と
おっしゃって
おります
お帰り頂けないと
いうのでしたら
警察を呼ぶことに
なりますが？
そんな…
…

あの
おじいちゃん
織莉子の敵なの？
消す？
……！
駄目よ
わたしたちが
倒すべき敵は
「わたしたちの敵」
ではないわ
「世界の敵」よ

私怨で殺めた
人間を人柱の内に
加えては
わたしたちの
救世は
完成しないわ
だから
貴女は
わたしの言うことを
それだけをしなさい
いいわね？
うん
すこし
横になるわ
うん
おやすみー
おやすみ
なさい…

消す？
キリカはあんな子だったかしら…
あのときキリカは壊れてしまった
でもその時よりも
いまの彼女は
壊れている気がする

早く守護者を崩す方法を見つけなくては
時間は残り少ない
このまま策に窮すればキリカが壊れ続けたら
また無駄な犠牲が出るかもしれない
それは駄目だ
非道の中にも正義を持たなければ
わたしの願いは叶わない

お父様・・・
お母様・・・
わたしは
守ります
どうか導いて
ください

ちっ
隠れるなんてずるいぞ!
ぼくは真澄千花
きみが殺した綾野ひかりの
友達だ!
出てこい!
黒い魔法少女!

跳んだ！
落下中を狙う!!
もらっ…
カチッ
トッ

…
ガシャン
迷惑な人違いだわ…
うそーっ！
どこいっちゃったの？
黒い魔法少女…
巴マミが言っていた魔法少女ね

今までの時間軸にはこんなやつは出てきたことはなかったけれども
関わらない方が良さそうね
魔法少女しか狙わないというならまどかは安全だもの

そう…
たいしたことじゃないわ
この時間軸は多少イレギュラーはあってもとても上手くいっているわ

そう…
このまま…

助けて…
助けて…！
ぎゃああああ
ブヂブヂッ

この部屋
なんの部屋だろ?
つまんなそーな
本ばっか…
わーい
せっかく
探検しにきたのに
ヒマつぶしにも
ならないよ
ん
近代法廷史
AL
ラナリー・オコ
アルバム…
あれ
なんか
引っかかってる
アルバム!

スポッ
ン

ドスッ

いったあ!

まあ
すこしくらい知ってやってもいいかな

お父様…

わたしは
引き返さないと
決めました
どんな
ことでも
この世界の為に
やると決めました
だから
せめて
今視たものは間違い
だったといってください

――……

織莉子には伝えない
絶対に教えない
…ただ私は許さない
絶対に完全に一片たりとも許さない！

おまえは
織莉子の敵だ

なあなあ 帰りなんか食べようぜ
うどん
またうどんかよ!
あの子さ~ 既読スルーするんだよ~
マジで? あの二人つきあってるの?
ねえ聞いて!
今年の流行は…
…
ガヤ
えーやだね
ホント やめて欲しいよぉ
ザワ
ああ
くだらない

第18話
彼女は未知の存在だ

はぁ。。。
呉ちゃんっ
どうしたのー？
なんか
元気ないよー？
いやいや
なんでも
ないよ
んー？
んんー？
怪しいなー

呉さん
変わった
よねー

前は人
寄せ付けない
雰囲気あった
もの
そうそう

くだらない

えー
そんなだったー？
人を変える
むむむ…

やっぱり
恋かなっ!?
さっちん
恋愛脳禁止！
ああ…

「変わった」ね…
マネはうまくなったよね
あいそ笑いに
話あわせて
適当なテンション
くだらないやつのマネ
……
へんなの！

なんで私は
こんなこと
願ったんだ
こんな
つまらない
こと

…
つまんない

メールを
受信しまし
You Got Mai

この部屋には入らないでと言ったはずよ

机がなにか？
なっ
なんでもないよ！
まずい
ちょっと
どいてちょうだい
えっ
いいから
アレ（手帳）が
見つかっちゃう
？
なにかしらこれ

織莉子
お茶にしようよ！

キリカ
貴女変よ？

私おなかすいて
死んじゃう!!

どうしちゃった…

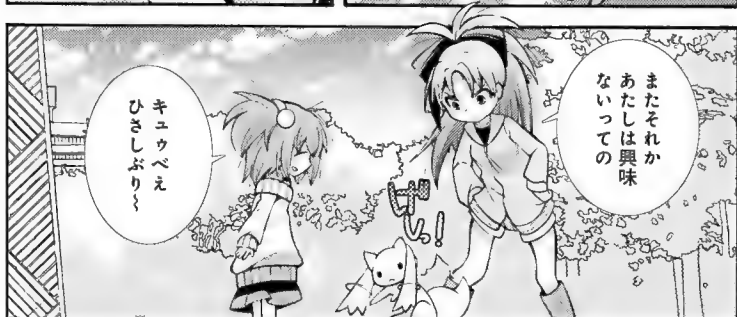
の

え…
なに…？

お父様の机に
なんで
こんなものが

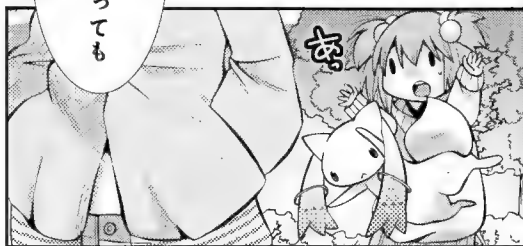
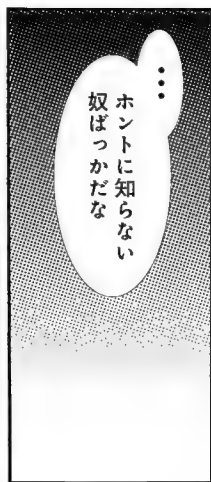
頂きもの
かしら…？

もう他人の机を勝手に開けたりしてはだめよ

黒いロングヘアで
見た目も黒いし
それに違うなら
人違いだって
ふつう言うもん
あの子
黒い魔法少女だよ
消える？
そんな魔法を
使う魔法少女は
知らないな
ありがとう
千花
ボクが認識
していない
魔法少女
黒い長髪

彼女は未知の存在だ
戦力は多いほうがいい
またそれかあたしは興味ないっての
キュゥべえひさしぶり〜
げしっ!
あたしらは用をすませたら風見野に帰るんだよ
「魔法少女狩り」にかまってる暇なんかない
マミひとりで十分だろ
他にも声をかけるつもりだよ
新米ばかりで不安はあるけどね

へえ？
杏子は知らない子達だと思うよ

真澄千花
呉キリカ

美国織莉子

キョーコ
キュゥべえに
うそついたの？
ウソなんか
ついてねーよ
ついでに
やってやるさ
織莉子の
ついでにさ

おなかすいた
のかな

眠いのかな

学校で
やなこと
あったのかな

……

さみしいのかな

悲しいなあ
織莉子がおなかをすかせても私はごはんになってあげられない
眠くてもベッドに変わってあげられない
いじめる奴らを殺してあげることもできない
父親(あいつ)のかわりにもなってあげられない

私に出来ることしか出来ないのは悲しいなあ

世界はつまらないばかりで

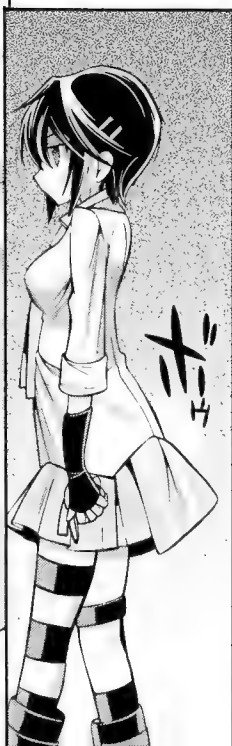
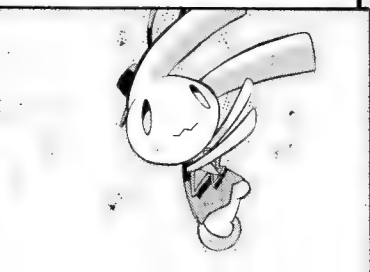
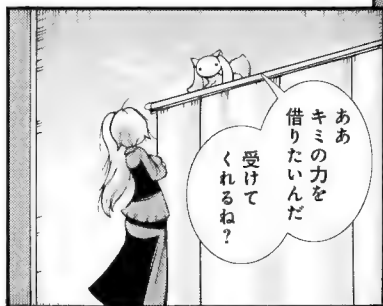
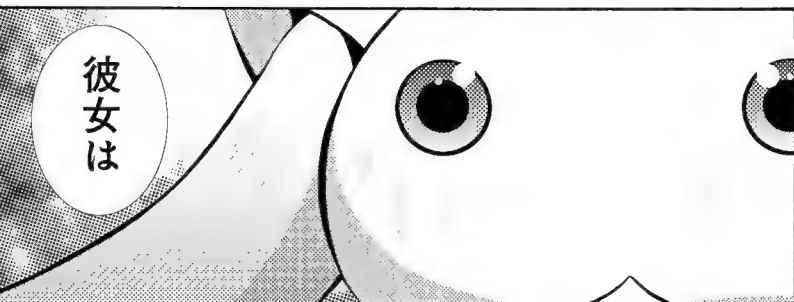
織莉子だけが特別で

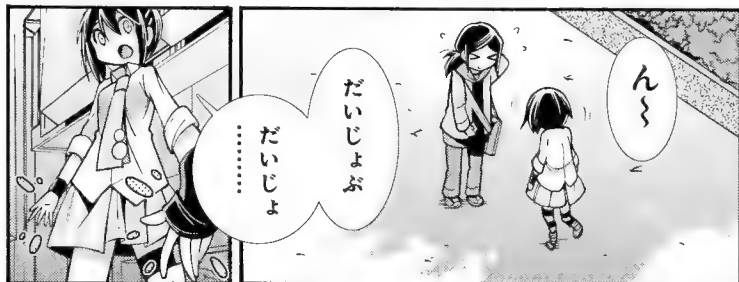
なのに

みんな織莉子を傷つける

あんな
くだらない願い
叶えなければ
よかった
もっと早く
出会っていれば
私は
織莉子の為に
わっ

黒い魔法少女の討伐？
ああ キミの力を借りたいんだ
受けてくれるね？
勿論よ
ただわたしは戦闘能力に乏しいの
対策を講じたいわ 教えてちょうだい
どんな子なの？

すまないが
彼女の魔法はボクにもよく解らないんだ
?
キュゥべえの知らない魔法少女?
助かったキリカのことじゃない
彼女は
明日のお茶菓子はどうしようかしら…

たまには
スポンジを
焼いてみようかしら
ふふっ
キリカもきっと
喜ぶわ
良かった
彼女は
黒い長髪の
魔法少女で
名前は
ほんとうに
良かった
暁美ほむら

これで確実に守護者を消せる
容易く鹿目まどかを葬ることができるわ
やっぱりあの予知は間違いだったんだ…
ふう
…キリカを叱りすぎたかも
このケーキで許してもらおうかしらね

いたた…

すみません大丈夫ですか？

ん～

だいじょぶ

だいじょ………

ぶ～～～～!?

な

ないっ

私のっ

私のっ

ないよう！

探し物はもしかしてこれかしら

私の…！

私は織莉子のために

私は呉キリカ

恩人に礼をしたい

私の

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
sadness prayer

「新約」魔法少女おりこ☆マギカ

PUELLA MAGI ORIKO MAGICA

sadness prayer

魔法少女を
殺した
数は
数えてない
意味がないから
殺意も
罪悪感も
なにもない
私にあるのは
愛だけ
愛がッ
強く流れ
止まらないから

急く速く
帰ろ！

第19話
あなたの
ケーキは
完成しない

やあ
美国くん
奇遇だね

……

どうも
八重樫先生

はっはっは

そんな邪険に
しないでくれたまえよ

久臣くんは残念だったね
危うく・・・きみの政治生命に・・・傷がついてしまうところだったよ
……
あの娘さんも可哀そうに
ええと…
ああ
織莉子くんだ

ええっと
振るった粉と
メレンゲを…
「さっくり混ぜる」
さっくり？
さくっていうより
ふわっとしている
けど…
はい
織莉子
できたわよ
わあっ
お母様の
ケーキ
大好き！
いいなぁ
織莉子
僕にも
ちょうだい
やっ！
ええ～
はいはい ふたりとも
ちゃんと手を洗ってね

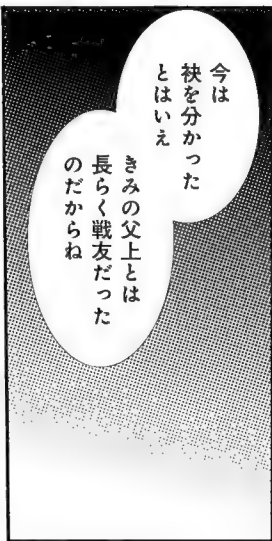
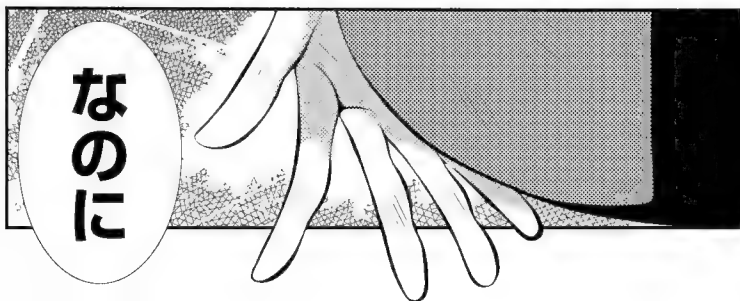
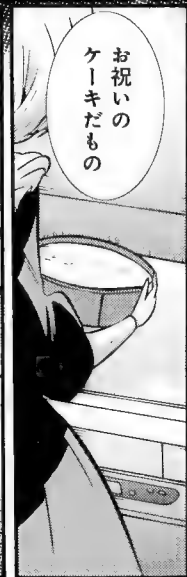
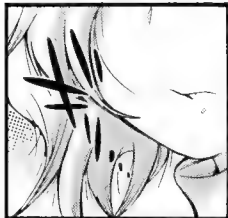
……
習えば
よかったかな
お祝いの
ケーキだもの
わたしの
願いが
確実なもの
となる
世界が救われる
記念の…
なのに

なぜ
こんなに不安な
気持ちになるの？

いけない！

ケーキの泡が潰れてしまうわ
ピッ
だめだよ

あなたのケーキは完成しない

「これだけやった」「こんなにもやった」
過程ばっかり強いのは敗者の言うこと

死体の数なんて
かぞえなければ
よかったのに
!!
予知？
いやこれは
幻だ
夢中で走ってる
うちは大丈夫でも
ゴールが
見えると正気に
なっちゃうよね

弱くて
かわいそうな
わたし
消えなさい
わたしは
貴女を
捨てたの
両親にすがりついて
泣くだけの
小さいわたし

わたしの心を探って 小賢しく立ち回っても無駄よ

わたしはわたしの願いを成す

死体の数なんて数えるなと言ったわね

そうよ「数」よ

「どこの誰」じゃない駒と同じ

願いの為ならわたしは幾らでも切り捨てる

消えろ！
あ…
は…
あはは
ははは

さあ
見つけた
くっ
見つかった!
キリカ
貴女は何故
そこまでわたしに
尽くすの?
刻もう
よし

え？
？
？
う～ん
ぱく
ぴっ
そんな
当たり前のこと
考えたこと
ないなぁ
当たり前
なの…？
そうだなぁ
それが
私が
魔法少女に
なった
願いだからさ

？
貴女の願いって
叶ったほうの願いはつまんないから
こっちが本命ってことにしようと思ってさ
願えば叶うんでしょ？
ふふっそうね
キミも私の
恩人
願いのひとかけらになってくれ

守護者も
ガガ
ガ
鹿目まどかも
すべての敵を
それでも
足りないなら
私を砕いて
捧げるよ
織莉子

なにが…
そんなに可笑しいの？
「捨てたの」
あの子にすがりついてるくせに
「すがりついて泣くだけの小さなわたし」
ピクッ…

…え？
気付いてないの？
あなたが折れそうなとき
あの子が先に折れた
あなたが壊れそうなときあの子が先に壊れた
あなたが自分を否定しそうなときあの子はあなたを全部肯定した
あなたの正気はあなたのおかげじゃない

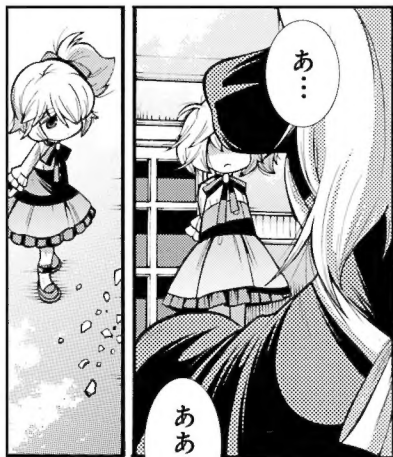
あの子が
折れ壊れ変わり
続けてくれた
おかげ
あなたと
わたしは
変わらない
ケーキ(願い)は
完成しない
お母様の
代わりに
なれなかった
お父様を死なせた
あなたではね
…キ

キリカ…
早く帰ってきて…
わたしを…
わたしが
正しいと言って…!

あ…
ああ…
ああそうだ
織莉子くんだ

あの子は才がある
是非 将来は政をやってもらいたいものだね
やめて頂きたい

皆好き勝手を言っているが
彼女は父を亡くし傷ついている

ただの中学生です

最後まで
読んでいただき
ありがとうございました
次巻でまた
お会いできれば
幸いです
《初出一覧》
・まんがタイムきらら☆マギカvol.23～28
・描き下ろし
本書は以上の内容を収録いたしました。

［新約］魔法少女おりこ☆マギカ
sadness prayer　第３巻

原案：Magica Quartet　漫画：ムラ黒江

電子版発行日：2017 年 1 月 15 日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽 1-2-12